

## 令和4年度第3回茂原市地域公共交通会議 議事概要

日 時 令和4年12月26日(月)  
午後3時00分から午後4時00分まで

場 所 茂原市役所 502会議室

出席者 委 員 16名

横山委員、鶴野委員、清藤委員、三橋委員、浜田委員、平井委員、梅田委員、白土委員、平田委員、渡邊(彰)委員、下木委員、豊田委員、渡邊(正)委員、渡辺委員、金野委員、藤井委員

事務局 5名

都市計画課 石崎課長、川崎補佐、野村係長、市東主事、小関主事

会議内容(進行:川崎補佐)

### 1 開会 午後3時00分

要綱第7条第2項に基づき、出席委員16名で過半数に達しており会議成立。

### 2 会長あいさつ

### 3 議事

#### (1) デマンド交通「ふれあい」・市民バス「モバス」の利用状況について

##### <質疑>

委 員:デマンド交通については順調に推移しているよう。デマンド交通の場合、利用者が伸びてくると需要と供給のマッチングが問題になる。他の自治体でも、電話しても断られるケースが見られる。茂原市では、断られる割合がどのくらいか伺いたい。それと、茂原市ではあまり見られないようだが、近隣自治体では、当日にキャンセルされてしまうケースが散見されるので、キャンセル率も伺いたい。

次に、市民バスについてだが、利用者が伸び悩んでいるのはコロナの影響が強いと感じている。午前中に別の自治体の会議に参加してきたが、コロナの影響でコミュニティバスの利用者が減ってきているが、その裏返しとして免許返納の比率が下がっているとのデータがあった。自家用車で移動をしたいと思っている方が増えてきて、80歳代の免許保有率が例年と比べて高い。本来はコミュニティバスに

乗ってもらいたい層が、感染予防という観点から、そういった考えになってきている。そうすると、劇的に利用者数を回復させるのは難しいのではないかと、午前中の会議で話をしてきた。茂原市では、免許返納や自家用車利用の年齢層が、変化しているのかどうかを事務局が捉えているのか。また、今回のアンケート調査の中で、そういったところの把握が出来るのかどうかが大変だと思うので、わかる範囲で構わないので教えて頂きたい。

事務局：デマンド交通の断られる割合及びキャンセル率については、正確な数字は把握していないが、通院のため利用される方が多いので、集中する時間帯が発生してしまっている。そのため、予約の電話が繋がらないことが度々ある。そういった時には、少し時間を置いて電話してもらうように案内している。デマンド交通は乗合タクシーになるが、出来れば1人で乗りたい方もいるようで、そういった方は1便ずらしてもらったりしているが、正確な断られる割合及びキャンセル率については、把握していない。

市民バスについて、前回の交通会議で、免許返納者の割合が減ってきていると警察から報告をいただいている。デマンド交通の話になってしまうが、免許返納者や障害者手帳所持者の利用割合は年々増えてきており、現在は半数以上を占めている。免許返納者の利用が目に見えて減っているということはないが、今後はその可能性もあるのではないかと感じている。現在、市民アンケートを実施しているので、その結果からも実態が見えてくるのではないかと考えている。

委員：デマンド交通の断られる割合及びキャンセル率は把握しておいた方が良いと思う。別の自治体の交通会議で、年齢別のスマートフォン所持率を見させてもらったが、80歳代でも77～8%が所持している。アプリを使っているか、通話機能を使っているかの割合はわからないが、次の5カ年の計画を立てる際には、今の75歳の方々がシフトしてくるので、その代になると所持率は90%を超えてくる。その自治体での問題点として、デマンドの予約の際に、電話しても繋がらないことがよくある。Ma a SやICTといった最先端の言葉が出ている割には、予約システムが陳腐であるという声が上がっていた。アプリでも予約できるようにして、利用効率を上げることを、早急でなくてもいいので将来的に考えて欲しいという声も出てきている。そのためには、実際に断られる事やキャンセルされてしまう事を調整出来る仕組みづくり必要だと思う。次の計画の足掛かりにするために参考にしてみてもどうかと思う。

委員：市民アンケートの結果で、多少なりとも計画の方向性が見えるようになるか。

事務局：見えてくると考えています。

委員：アンケートの締切はいつか。

事務局：本日までです。

委員：次回の会議は、アンケートの報告もお願いしたい。

- 委員：JRは利用者の状況等はどうなっているか。
- 委員：コロナ前の7割強ぐらいの戻り。根本的に、自宅勤務が増えてしまったので、利用者が完全に戻ってくるとは思っていない。今の状態から減らなければいいと考えている。海外からのお客様は大分戻ってきているので、空港は利用者が増えている。行楽地も同じような状況。
- 委員：バス関係はどうなっているか。
- 委員：外房地区の路線バスについては、コロナ前と比べても遜色がないぐらいの利用状況になっている。ただ、高速バスについては伸び悩んでいる。茂原～羽田・横浜便は、この1～2ヶ月で伸びてはいるが、数字的には厳しい状況。内房でも高速バスがあるが、そちらについては急激に伸びており、収支は良くなってきている。外房の方が伸びが鈍い状況。この先どの程度回復するのだが、完全に戻るのには難しいのではないかと考えている。
- 委員：内房の方が伸びているとのことだが、外房は今後、伸びるような兆しはあるのか。
- 委員：外房は、白子町でのテニスの大会などの、イベントでの団体の利用者が戻りきっていない状況。内房はアウトレット等の商業施設があるため、利用者が戻ってきている。
- 委員：県でも九十九里海岸の振興事業を実施している。県内の3つの振興事務所が協力してイベント等の地域振興をやっていこうという話が出ている。外房に来るには、何か目的が必要だと思うが、そこに行政がイベントを仕掛けたり、民間と行政が一緒にしないと、なかなか利用者は戻らないと思う。内房の木更津あたりでは、ポルシェのコースを作ってみたり、東京から近いので、芸能人が別荘を建て、休日はアウトドアを楽しんでいたりしているのをテレビで見たりする。デマンドと市民バスは地域内のみの運行だが、地域外の動きもしっかり見て、計画策定に生かしてもらいたい。
- 委員：バスが以前よりも不便になってしまった。回数券が無くなってしまい、Suicaも使えない。長生の森公園に、高校野球や大学野球の応援で、千葉・船橋方面から生徒さんが来るが、Suicaが使えると思っているので小銭を持っておらず、混雑してしまったことがあった。なぜ利用者を増やしたいと思っているのにも関わらず、本数を減らしたり、Suicaが使えなかったりと、マイナスの行動を取るのか。先程、イベントの話が出たが、長生の森公園での野球の試合も、今は応援出来るようになったので、バス利用者も増えると思う。なので、利用者が便利に使えるようにして欲しい。
- 委員：回数券については社内でも検討したが、最終的には廃止となってしまった。Suica・PASMOについては導入する予定であったが、コロナの影響で経営状況が厳しくなってしまう、予算がつかなかった。Suica対応の運賃システムは1台何百万円もするので、それを全車に乗せるのは、今の状況では難しく、また、ベースとなるシステムも導入しなければならず、それもあり高額のため、資金の調達が出来ずに、

先延ばしになってしまった。今後についても、白紙の状態に戻ってしまったので、いつ導入出来るかはわからない。ご不便をお掛けして申し訳ない。

委員：利用しやすくなっていくのも目的の1つである。将来的にはスマホの電子決済や、あるいはマイナンバーカードで全てを連動させていければ良いと思っているが、そこまでの動きはまだないか。

委員：電子決済については、京急バスと共同で運行している便については導入している。条件を整えば、徐々に取り入れていきたいと考えている。

委員：市民バスはそこまでは難しいか。

事務局：回数券については、1割安くなるものを販売している。Suicaについては手数料が取られてしまう問題があるので導入はしていない。

報告のみのため、採決は無し

## (2) 令和4年地域公共交通確保維持改善事業費補助金における事業評価について

### <質疑>

委員：3点ある。1点目は、定性的な目標とあるが、定性的とは数量を扱わないときに用いる用語なので、ここでは100人以上や750人以上といった数量が記載されているので、定量的な目標とするのが正しい。

2点目は、前回の事業評価の検討のところ、交通マップの配布について、利用者の気をひくような仕掛けに対して、交通マップを配布したと記載があるが、多くの方に見ていただくアプローチは取れたということであるが、事業の今後の改善点のところ、広報・自治会回覧でのさらなる周知を図るとあるが、交通マップが市民に届くような仕組みになっているのかを聞きたい。

3点目は、⑤目標・効果達成状況の下段に「新型コロナウイルスの影響をあまり受けていなく」と記載があるが、「受けていなく」ではなく「受けておらず」の方が分かりやすいと思う。

事務局：1点目について、国交省の様式に従って記載しているので、記載方法について確認します。2点目について、交通マップは利用者に配布しており、公共施設や市民バス内でも配布しているので、情報提供は出来ている。3点目について、「受けておらず」に訂正します。

委員：2点目について、全世帯に配布しているという認識で良いのか。もし、全戸配布しているのであれば、前回の評価を受けた時の利用者の気をひくような仕掛けとのリンクがどうなっていたのか。公共施設での配布だけでは、せっかく広報・自治会回覧で意見交換会の周知を行うのであれば、そこに集まってくる方に配布す

ることで、市民バス・デマンド交通のさらなる周知が出来るのではないかと。

事務局：交通マップについては全戸配布は行ってない。公共施設・商業施設・市民バス内で配布している。意見交換会については、広報・自治会回覧で周知したので、記載した。

委員：意見交換会をやるのであれば、そこでも積極的に交通マップを配布して、利用者増に努めるのも良いのではないかと。どんどん展開をしていくべきだと思う。

事務局：意見交換会の際には、交通マップを配布します。

委員：全戸配布は今後も考えていないのか。

事務局：交通マップについては、全戸配布はしていないが、ダイヤ改正の際に自治会回覧を行っている。

委員：全戸配布は予算的なこともあるので何とも言えない部分もあるが、せめて、免許返納の際にセットで渡すなど、直接利用に繋がる際にはマップを紐づけて渡すという思いは持っておいて欲しい。ある牌は限られているので、広げようと思うとプラスの何かをしないと前に進んでいかない。例えば、民生委員に持っていてもらって、困った人がいた時にバスを案内出来るようにしておくなど。そういった仕組みを事務局で考えてもらえたら良いと思う。全戸配布でなくても、出来る方策はたくさんあると思う。

委員：転入者に対しては配布していないのか。

事務局：市民課にて、転入者に対して配布している。委員から意見があったように、必要とされている方の手元に届くように、検討していきたい。

委員：転入者に交通マップを配布していることも記載したらどうか。

事務局：そのようにさせていただきます。

採決の結果、全会一致にて承認

#### 4 その他

- (1) 茂原市地域公共交通計画の策定に係る調査業務の進捗について
- (2) 市民バス「地挽商店前」停留所の移設について
- (3) 明治橋の架け替え工事に伴う市民バス迂回運行ルートについて
- (4) 埋設管工事に伴う市民バス迂回運行ルートについて

質疑なし

## 5 事務連絡

事務局：本市では、新型コロナウイルス感染症により影響を受けている市内の公共交通事業者様に対し、感染症防止対策及び事業継続を支援することを目的として、今まで4回、茂原市公共交通事業者支援金を交付してまいりましたが、この度、5回目の交付を予定しております。詳細につきましては、決まり次第、対象事業者様にご案内いたします。

次に、お手元に配布させていただいた前回の議事概要についてですが、内容を確認していただき、訂正等がございましたらお手数ですが、1月13日（金）までに事務局へご連絡をお願いいたします。

最後に、次回の会議開催時期につきましては3月下旬頃を予定しておりますのでご承知おきください。日程が決定次第、案内通知をお送りいたします。事務局からは、以上でございます。

## 6 閉会 午後4時00分